

電力中央研究所における「原子力リスク研究センター」の発足について

2014年10月1日
電気事業連合会
会長 八木 誠

本日、一般財団法人電力中央研究所において、「原子力リスク研究センター」が発足いたしました。

本研究センターは、電力中央研究所がこれまで蓄積してきた豊富な知見や技術等を基盤に、確率論的リスク評価（PRA）を活用した総合的なリスク評価を行い、地震や津波等の低頻度の外的事象による事故発生確率の低減に向け、プラントにおける課題解決策を提言いたします。

また、センター所長のジョージ・アポストラキス氏をはじめ、顧問や技術諮問委員長には、米国原子力規制委員会（NRC）等での豊富な経験を有する方々が就任され、原子力安全に係る高度な知見と強力なリーダーシップを発揮いただけるものと期待しております。

私ども原子力事業者は、原子力の安全確保に一義的な責任を有するものとして、自主的・継続的に安全性向上に向けた取り組みを進めることが重要であると強く認識しております。

今後は、各社において、リスクマネジメント強化のための体制整備やリスクコミュニケーションの充実等を図るとともに、業界共通の課題である低頻度の外的事象によるリスク対応については、本研究センターの活動を最大限尊重し、自らの事業活動にしっかりと反映してまいります。

以 上

（参考）2014年6月13日発表資料

[「原子力リスク研究センター」を通じた安全性向上の取り組みについて](#)